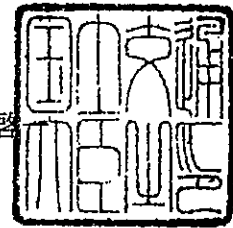


認 定 書

国住指第 1452 号
平成 29 年 8 月 14 日

株式会社ノザワ
代表取締役社長 野澤 俊也 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第一号（柱：1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060CN-0538-1
2. 認定をした構造方法等の名称
押出成形セメント板／吹付けロックウール合成被覆／鋼管柱
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
 押出成形セメント板／吹付けロックウール合成被覆／鋼管柱

2. 仕様の寸法：
 仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
鋼管柱	断面の形状・寸法：(1)又は(2) (1)角形鋼管；□－300×300×9mm以上 (2)丸形鋼管；○－382×9mm以上 幅厚比(又は径厚比)：建設省告示第1792号第3第二号のイによる柱種別FCに定められた数値以下、かつ角形鋼管の場合は表4、丸形鋼管の場合は表5に示した部材幅(外径)については、表中に示した部材厚さ以上とする。
押出成形セメント板	厚さ：60～100(±1.5)mm
被覆材	厚さ：25mm以上
パネルと鉄骨柱の間隔	250mm以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様										
鋼管柱	<p>鋼材の種類：①～⑩の一</p> <p>①一般構造用角型鋼管(JIS G 3466) STKR400、STKR490</p> <p>②一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444) STK400、STK490</p> <p>③建築構造用炭素鋼管(JIS G 3475) STKN400W、STKN400B、STKN490B</p> <p>④一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400、SS490</p> <p>⑤溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400、SM490</p> <p>⑥建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400、SN490</p> <p>⑦建築構造用冷間ロール成形角形鋼管</p> <p>・規格 (一社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0002(BCR295)</p> <p>⑧建築構造用冷間プレス成形角形鋼管</p> <p>・規格 (一社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0003(BCP235、BCP325)</p> <p>⑨建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管</p> <p>・規格 (一社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0012(BCP325T)</p> <p>⑩表6に示す①～⑥のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された材料 ただし、⑦～⑩は、建築基準法第37条第二号に適合するものに限る。</p>										
押出成形セメント板 (以下、パネルという。)	<p>材料：押出成形セメント板(ECP)(JIS A 5441)</p> <p>組成(質量%)：</p> <table border="0"> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td>55.0(±5.0)</td> </tr> <tr> <td>無機質系骨材(けい砂)</td> <td>41.0(±5.0)</td> </tr> <tr> <td>有機質繊維(パルプ)</td> <td>0～3.0</td> </tr> <tr> <td>無機質繊維(ガラス繊維)</td> <td>0～3.0</td> </tr> <tr> <td>混和剤(セルロース系)</td> <td>0～1.0</td> </tr> </table> <p>厚さ：60～100(±1.5)mm</p> <p>密度：1.85(±0.15)g/cm³(絶乾)</p> <p>ロックウール充填：あり又はなし</p> <p>目地幅：</p> <p>突付目地部；10～15(±2)mm</p> <p>凸凹目地部；10(±2)mm</p> <p>パネル形状：①、②又は③</p> <p>①フラット</p> <p>②デザイン(リブ又はエンボス)</p> <p>③タイルベース</p>	普通ポルトランドセメント	55.0(±5.0)	無機質系骨材(けい砂)	41.0(±5.0)	有機質繊維(パルプ)	0～3.0	無機質繊維(ガラス繊維)	0～3.0	混和剤(セルロース系)	0～1.0
普通ポルトランドセメント	55.0(±5.0)										
無機質系骨材(けい砂)	41.0(±5.0)										
有機質繊維(パルプ)	0～3.0										
無機質繊維(ガラス繊維)	0～3.0										
混和剤(セルロース系)	0～1.0										
被覆材	<p>材料：吹付けロックウール</p> <p>組成(質量%)：</p> <table border="0"> <tr> <td>ロックウール(JIS A 9504)</td> <td>60.0(±5.0)</td> </tr> <tr> <td>ポルトランドセメント(JIS R 5210)</td> <td>40.0(±5.0)</td> </tr> </table> <p>かさ比重：0.28以上(絶乾)</p> <p>厚さ：25mm以上</p>	ロックウール(JIS A 9504)	60.0(±5.0)	ポルトランドセメント(JIS R 5210)	40.0(±5.0)						
ロックウール(JIS A 9504)	60.0(±5.0)										
ポルトランドセメント(JIS R 5210)	40.0(±5.0)										

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
取付下地材	種類：山形鋼 材質：1)、2)又は3) 1)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 2)溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) 3)建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) 寸法：L-50×50×6mm以上
取付支持金物	種類：①又は② ①溝形鋼 寸法：[-75×40×5×7mm以上 ②山形鋼 寸法：L-50×50×6mm以上、2本 材質：1)、2)又は3) 1)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 2)溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) 3)建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) 支持間隔：1200mm以下
取付金物	クリップ 材料：Z型クリップ 材質：1)、2)又は3) 1)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 2)熱間圧延軟鋼(JIS G 3131) 3)熱間圧延ステンレス鋼材(JIS G 4304) 寸法：115～150(±10)×50～150(±5)mm 板厚：3.2mm以上 ボルト 材料：六角ボルト(JIS B 1180) 寸法：胴部径M10×長さ35mm以上 ナット 材料：角ナット 材質：1)、2)又は3) 1)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 2)熱間圧延軟鋼(JIS G 3131) 3)熱間圧延ステンレス鋼材(JIS G 4304) 寸法：60～120×30～50mm 板厚：6mm以上 留付位置：パネル両端部
目地シール材	材料：建築シーリング材(JIS A 5758) 種類：①～⑤の一 ①ポリウレタン系シーリング材 ②アクリルウレタン系シーリング材 ③変成シリコーン系シーリング材 ④ポリサルファイド系シーリング材 ⑤ポリイソブチレン系シーリング材 使用量(表側)： 突付目地部；200g/m 凸凹目地部；100g/m

つづく

つづき

<p>バックアップ材</p>	<p>材料：①又は② ①発泡ポリエチレン ②塩化ビニル 寸法： 突付目地部；10×15mm 凸凹目地部；3×10mm(両面テープ付)</p>
<p>目地充てん材</p>	<p>材料：①～③の一 ①ロックウール保温板(JIS A 9504) ②セラミックファイバークラケット(JIS R 3311) ③アルカリアースシリケートクラケット(生体溶解性繊維)：i)～vii)の一 i)組成(質量%)： 二酸化けい素 72 酸化物 24 (酸化カルシウム、酸化マグネシウム) その他 4 ii)組成(質量%)： 二酸化けい素 77 酸化物 21 (酸化カルシウム、酸化マグネシウム) その他 2 iii)組成(質量%)： 二酸化けい素 62～68 酸化カルシウム 26～32 酸化マグネシウム 3～7 その他 1以下 iv)組成(質量%)： 二酸化けい素 70～80 酸化物 18～25 (酸化カルシウム、酸化マグネシウム) その他 3以下 v)組成(質量%)： 二酸化けい素 64 酸化カルシウム 30 酸化マグネシウム 5 その他 1以下 vi)組成(質量%)： 二酸化けい素 77 酸化カルシウム 0.3 酸化マグネシウム 20 その他 3以下 vii)組成(質量%) 二酸化けい素 70～80 酸化物 19～25 (酸化カルシウム、酸化マグネシウム) その他 5以下 密度：80kg/m³以上 寸法： 目地幅10mm以上15mm未満の場合；30×15(±3)mm以上 目地幅15mmの場合；30×20(±3)mm以上</p>

つづく

つづき

目地ガスケット	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：①又は② ①建築用ガスケット(JIS A 5756) ②発泡体ガスケット 材質：1)～4)の一 1)クロロプレン系 2)EPDM系 3)シリコーン系 4)ポリウレタン系 使用量：25g/m以上
メタルラス	材料：①又は② ①平ラス(JIS A 5505) 3号 ②リブラス(JIS A 5505) 3号
力骨	材料：鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) 寸法：φ9mm以上 取付間隔：450mm以下
硬質パッキン	材料：①、②又は③ ①なし ②繊維強化セメント板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8576) ③繊維混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) ②、③の寸法：幅20mm以上×長さ50mm以上 ②、③の厚さ：10mm以下

5. 仕様におけるフランジ幅とフランジ厚さの関係：
仕様における部材幅と部材厚さの関係を表 4 及び表 5 に示す。

表4 仕様における部材幅と部材厚さの関係(角形鋼管の場合)

部材幅 (mm)	400 級の部材厚さ (mm)	400 級以外の部材厚さ (mm)
300	9.0 以上	9.0 以上
310	9.1 以上	9.1 以上
320	9.1 以上	9.2 以上
330	9.1 以上	9.3 以上
340	9.2 以上	9.4 以上
350	9.3 以上	9.5 以上
360	9.5 以上	9.6 以上
370	9.6 以上	9.7 以上
380	9.7 以上	9.9 以上
390	9.8 以上	10.0 以上
400	9.9 以上	10.1 以上
410	10.1 以上	10.2 以上
420	10.2 以上	10.3 以上
430	10.3 以上	/
440	10.4 以上	
450	10.5 以上	
460	10.6 以上	
470	10.7 以上	
480	10.9 以上	
490	11.0 以上	
500	11.1 以上	
510	11.2 以上	
520	11.3 以上	
530	11.4 以上	
540	11.5 以上	
550	11.7 以上	
560	11.8 以上	
570	11.9 以上	

表5 仕様における外径と厚さの関係(丸形鋼管の場合)

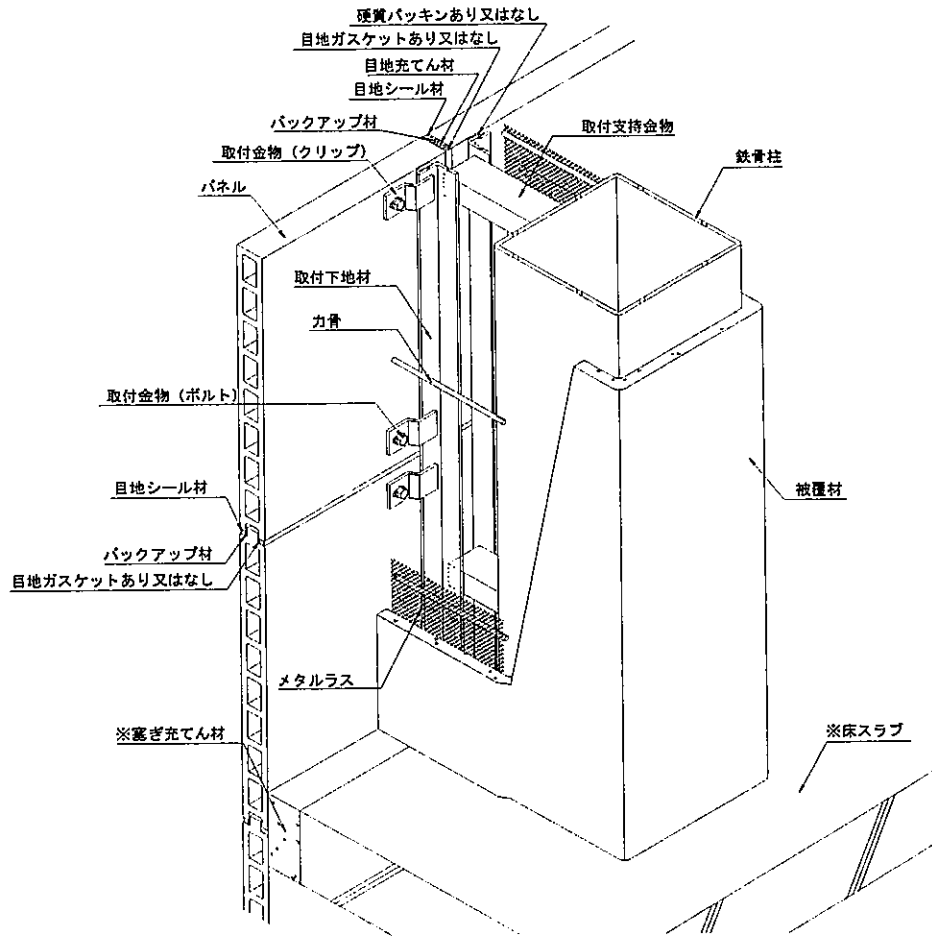
部材外径 (mm)	400級の 部材厚さ (mm)	400級以外の 部材厚さ (mm)	部材外径 (mm)	400級の 部材厚さ (mm)	400級以外の 部材厚さ (mm)
382	9.0 以上	9.0 以上	790	11.3 以上	11.4 以上
390	9.1 以上	9.1 以上	800	11.4 以上	11.5 以上
400	9.1 以上	9.1 以上	810	11.4 以上	11.5 以上
410	9.1 以上	9.2 以上	820	11.5 以上	11.6 以上
420	9.1 以上	9.3 以上	830	11.6 以上	11.6 以上
430	9.1 以上	9.3 以上	840	11.6 以上	11.7 以上
440	9.1 以上	9.4 以上	850	11.7 以上	11.8 以上
450	9.1 以上	9.4 以上	860	11.8 以上	
460	9.1 以上	9.5 以上	870	11.8 以上	
470	9.1 以上	9.6 以上	880	11.9 以上	
480	9.2 以上	9.6 以上	890	12.0 以上	
490	9.2 以上	9.7 以上	900	12.0 以上	
500	9.3 以上	9.7 以上	910	12.1 以上	
510	9.4 以上	9.8 以上	920	12.2 以上	
520	9.5 以上	9.8 以上	930	12.2 以上	
530	9.5 以上	9.9 以上	940	12.3 以上	
540	9.6 以上	10.0 以上	950	12.4 以上	
550	9.7 以上	10.0 以上	960	12.4 以上	
560	9.8 以上	10.1 以上	970	12.5 以上	
570	9.8 以上	10.1 以上	980	12.6 以上	
580	9.9 以上	10.2 以上	990	12.6 以上	
590	10.0 以上	10.2 以上	1000	12.7 以上	
600	10.0 以上	10.3 以上	1010	12.8 以上	
610	10.1 以上	10.4 以上	1020	12.8 以上	
620	10.2 以上	10.4 以上	1030	12.9 以上	
630	10.2 以上	10.5 以上	1040	13.0 以上	
640	10.3 以上	10.5 以上	1050	13.0 以上	
650	10.4 以上	10.6 以上	1060	13.1 以上	
660	10.4 以上	10.6 以上	1070	13.2 以上	
670	10.5 以上	10.7 以上	1080	13.2 以上	
680	10.6 以上	10.8 以上	1090	13.3 以上	
690	10.7 以上	10.8 以上	1100	13.4 以上	
700	10.7 以上	10.9 以上	1110	13.4 以上	
710	10.8 以上	10.9 以上	1120	13.5 以上	
720	10.9 以上	11.0 以上	1130	13.6 以上	
730	10.9 以上	11.0 以上	1140	13.6 以上	
740	11.0 以上	11.1 以上	1150	13.7 以上	
750	11.1 以上	11.2 以上	1160	13.8 以上	
760	11.1 以上	11.2 以上	1170	13.8 以上	
770	11.2 以上	11.3 以上	1180	13.9 以上	
780	11.2 以上	11.3 以上			

表6 ①～⑥のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された材料

名称	認定番号	認定板厚	種類の記号
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0053	40 < t ≤ 70	KSAT325,KSAT355,KSAT440
円形鋼管	MSTL - 0137	12 ≤ t ≤ 40	P-385
円形鋼管	MSTL - 0138	12 ≤ t ≤ 100	P-385
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0146	40 < t ≤ 100	KSAT325,KSAT355,KSAT440
円形鋼管	MSTL - 0154	40 < t ≤ 100	P-325,P-355,P-SM520,P-440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0192	19 ≤ t ≤ 100	KSAT385
建築構造用鋼管	MSTL - 0255	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0256	19 ≤ t ≤ 100	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0257	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0258	19 ≤ t ≤ 100	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0259	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0260	19 ≤ t ≤ 100	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0261	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0262	19 ≤ t ≤ 100	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0263	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0264	19 ≤ t ≤ 100	SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 9028	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 9030	40 < t ≤ 100	SA-T325,SA-T355,SA-T440
円形鋼管	MSTL - 9039	40 < t ≤ 100	P-325,P-355,P-SM520,P-440
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0049	19 ≤ t ≤ 50	PBCP440
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0051	6 ≤ t ≤ 40	SHC400,SHC490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0113	40 < t ≤ 70	SHCK490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0127	6 ≤ t ≤ 40	SHC275,SHC355
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0153	19 ≤ t ≤ 50	G385
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL - 0165	13 ≤ t ≤ 33	BSH325
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0176	16 ≤ t ≤ 40	NBCP325EX
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0231	19 ≤ t ≤ 40	BCHT400
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0241	19 ≤ t ≤ 50	BCHT400
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0286	19 ≤ t ≤ 60	SBCP385
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0298	19 ≤ t ≤ 60	SBCP440
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0301	16 ≤ t ≤ 50	NBCP385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0308	19 ≤ t ≤ 40	G385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0311	19 ≤ t ≤ 40	BCHT385
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0317	19 ≤ t ≤ 50	G440
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0322	19 ≤ t ≤ 50	BCHT385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0335	19 ≤ t ≤ 60	SBCP385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0339	19 ≤ t ≤ 50	BCHT385
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0350	19 ≤ t ≤ 50	G385T
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0373	19 ≤ t ≤ 60	SBCP440
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0375	6 ≤ t ≤ 19	U365
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0376	6 ≤ t ≤ 22	U365
建築構造用厚肉冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0401	t=25	JBCR295
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0423	12 ≤ t ≤ 40	BCHT325TF
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL - 0438	13 ≤ t ≤ 33	BSH325
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0446	12 ≤ t ≤ 40	BCHT385TF
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0447	12 ≤ t ≤ 50	BCHT385TF
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0450	6 ≤ t ≤ 25	UBCR295
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0455	12 ≤ t ≤ 50	BCHT385TF
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0456	12 ≤ t ≤ 40	BCHT325TF
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0458	12 ≤ t ≤ 50	BCHT385
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0465	1.6 ≤ t ≤ 25	UBCR295
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0479	1.6 ≤ t ≤ 6	UBCR295

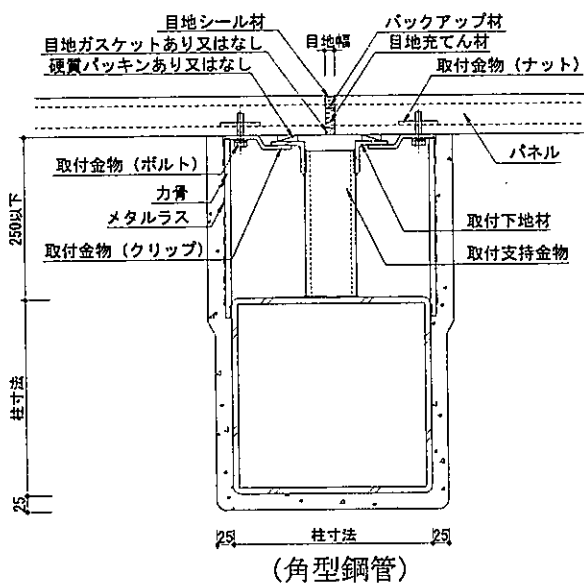
6. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1～図5に示す。

単位：mm

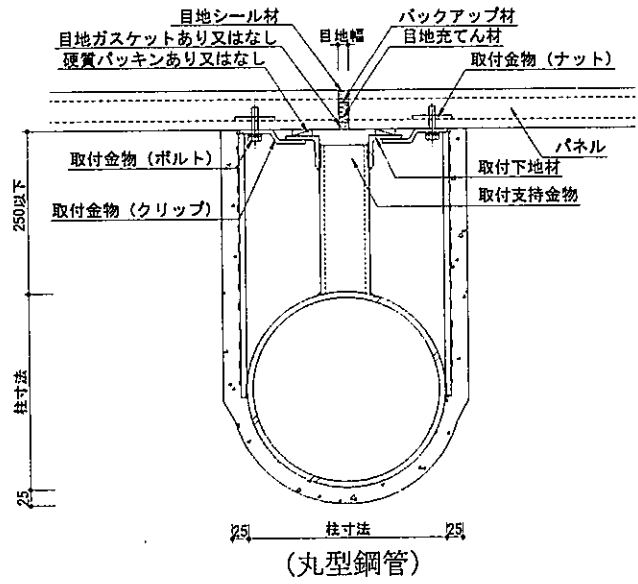


※評価対象外

透視図(取付支持金物：溝型鋼)



(角型鋼管)

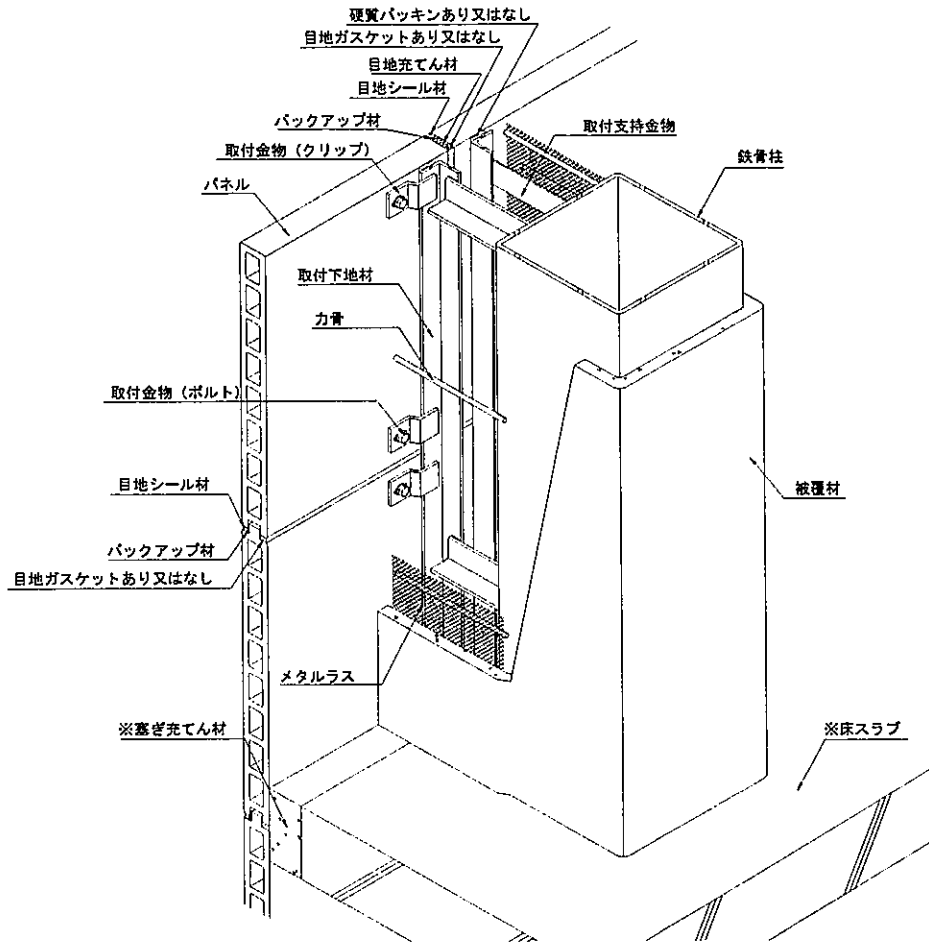


(丸型鋼管)

水平断面図(取付支持金物：溝型鋼)

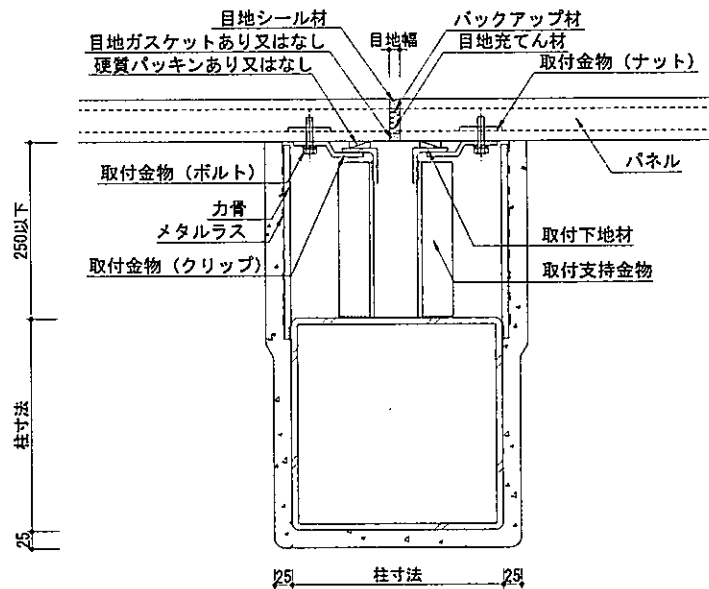
図1 構造説明図

単位：mm



透視図(取付支持金物：山形鋼)

※評価対象外

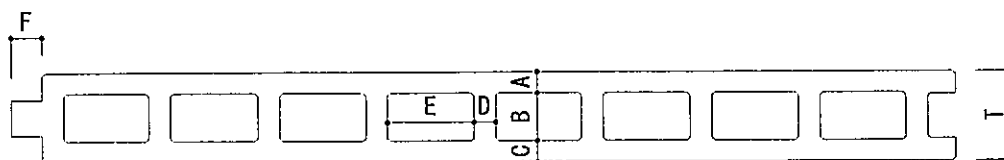


水平断面図(取付支持金物：山形鋼)

図2 構造説明図

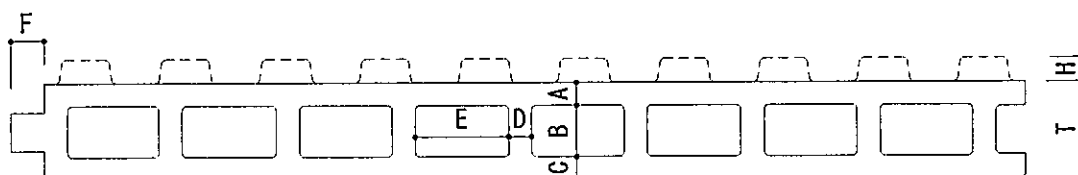
(パネル断面詳細)

・フラットパネル



対象部記号	部位名	寸法値
T	パネル厚	60~100 (±1.5)
A	表側材厚	13~20 (-1, +2)
B	中空高さ	$T - (A + C)$
C	裏側材厚	13~20 (-1, +2)
D	棧部材厚	13~20 (-1, +2)
E	中空幅	60 (±6) 以下
F	凸部	18~25 (±3)

・デザインパネル (リブ)



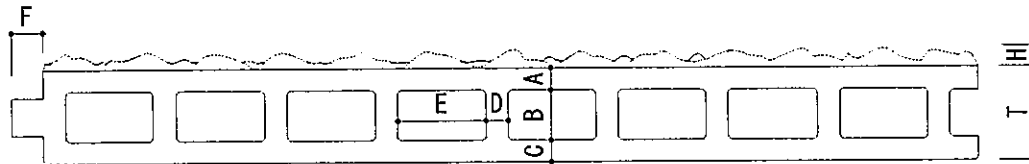
対象部記号	部位名	寸法値
T	パネル厚	60~100 (±1.5)
A	表側材厚	13~20 (-1, +2)
B	中空高さ	$T - (A + C)$
C	裏側材厚	13~20 (-1, +2)
D	棧部材厚	13~20 (-1, +2)
E	中空幅	60 (±6) 以下
F	凸部	18~25 (±3)
H	リブ高さ	1~40

* 規定のない寸法は、該当する壁の認定による。

図3 構造説明図

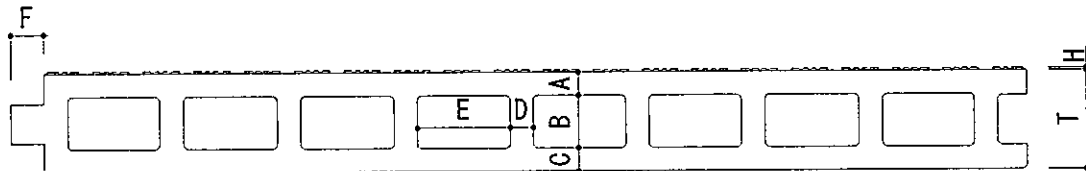
(パネル断面詳細)

・デザインパネル (エンボス)



対象部記号	部位名	寸法値
T	パネル厚	60~100 (±1.5)
A	表側材厚	13~20 (-1, +2)
B	中空高さ	$T - (A + C)$
C	裏側材厚	13~20 (-1, +2)
D	棧部材厚	13~20 (-1, +2)
E	中空幅	60 (±6) 以下
F	凸部	18~25 (±3)
H	エンボス高さ	1~30

・タイルベースパネル



対象部記号	部位名	寸法値
T	パネル厚	60~100 (±1.5)
A	表側材厚	13~20 (-1, +2)
B	中空高さ	$T - (A + C)$
C	裏側材厚	13~20 (-1, +2)
D	棧部材厚	13~20 (-1, +2)
E	中空幅	60 (±6) 以下
F	凸部	18~25 (±3)
H	あり溝高さ	1~3

* 規定のない寸法は、該当する壁の認定による。

図4 構造説明図

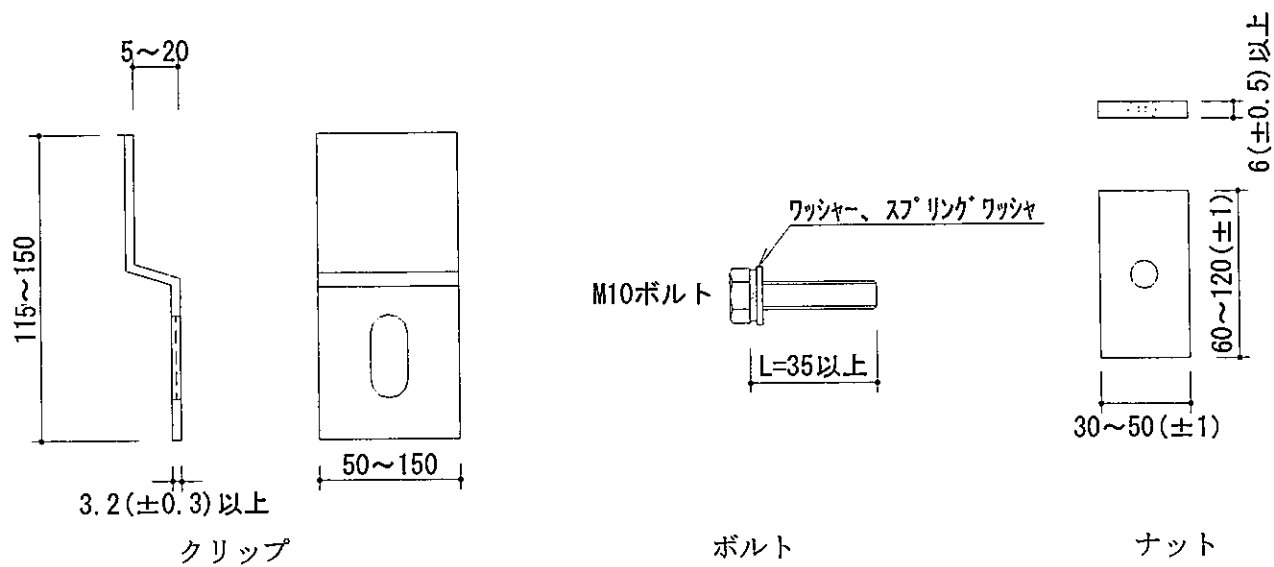


図5 構造説明図(留付金具形状)

7. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 取付支持金物の取り付け

鋼管柱に取付支持金物を溶接にて固定する。

(2) パネル(押出成形セメント板)工事

a) 取付下地材は、取付支持金物に対してボルト又は溶接を用いて留付ける。

b) パネルを所定の位置に縦張り又横張りに建て込み、取付金物を用い固定する。

出入調整が必要な場合は、パネルと取付下地材の間に硬質パッキンを挟み込む。

c) パネルの目地部は目地充てん材を充てん後、バックアップ材を入れシーリング材を充てんする。

(但し、目地充てん材の充てんは突付目地部のみとする。)

(3) メタルラス下地工事

骨骨を鋼管柱に溶接で固定し、鋼管柱とパネルの間にメタルラスを隙間なく鋼線を用いて張付ける。

(4) 被覆材(吹付けロックウール)の施工

a) 躯体の柱の清掃

鉄骨柱表面の浮き錆び及び付着油等、吹付けロックウールの付着性に支障を起こす恐れのあるものは十分清掃する。

b) スラリーの調合

あらかじめ水とセメントを攪拌機で混合しスラリーとする。スラリー中のセメント濃度は25～40(重量比)%とする。

c) 吐出量の調整

ロックウール及びスラリーの吐出量を組成の配合比率を満たすように調整する。

d) 吹付け

吹付け機で作業階まで輸送されたロックウールをノズル先端部で噴霧化されたスラリーと混合しながら均一に下地面に吹付ける。

e) 表面押さえ

吹付けロックウールの表面は毛羽立ちがないようコテなどで均す。

(5) 品質の確保

ロックウール工業会指定の測定具で、吹付け面積5m²毎に1箇所以上厚さの確認を行いながら施工する。

(6) 養生

a) 吹付けにより材料が周囲に飛散するのを防止するために、シート等で養生する。

b) 乾燥は自然乾燥とし、吹付け作業を完了した部分が衝撃及び雨水等によって障害を受けないように、適切な養生を行う。

c) 寒冷時には厳重な凍結防止対策養生を行う。

(7) 留意事項

a) 材料運搬および貯蔵に際し、破損、防水等に注意する。

b) 工場配合材料は、原則として1ヶ月以内に使用するものとする。

c) セメントスラリーは2時間以内に使用するものとする。

d) 吹付けロックウール被覆工事は5℃以下の施工を避ける。

注意事項

鋼管柱(荷重支持部材)の材質⑦～⑩について、最新の高温特性データが確認された材料とする。